

新居浜工業高等専門学校 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 令和5年度自己点検・評価結果

評価日時：令和6年3月28日

会議場所：新居浜工業高等専門学校

会議名称：点検・評価運営委員会

目的：令和5年度のデータサイエンス教育プログラムの内部評価

評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の審査項目の観点による評価

自己点検・評価項目	自己点検 ・評価結果	自己点検・評価理由
プログラムの履修・修得状況について	良好	本校では所属の学科・学年に開設されている授業科目（同一時間帯に開講される選択科目は受講申告によりいずれかを選択）は、すべて受講しなければならないように定められている。そのため、令和5年度の本教育プログラム履修者について本教育プログラムに係わる科目の履修率は100%となっている。また、令和5年度の本教育プログラムに係わる20科目中、12科目が修得率100%である。修得率100%に満たない科目も8科目あるが、これらも95%以上である。
学修成果について	良好	本校では本教育プログラムに係わる科目だけでなく全科目の授業アンケートを実施している。本教育プログラムに係わる20科目中17科目の令和5年度授業アンケートの「この授業の学習目標に対する自分の達成度はどのくらいだと思いますか」の項目の平均値は「80%以上」が67%、「60%以上」が30%、「60%未満」が2%であった。以上のことから、履修学生の達成度は高いと評価できる。なお、3科目は授業アンケート未実施である。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度について	極めて 良好	本教育プログラムに係わる科目の令和5年度授業アンケートの「内容は理解できましたか」項目の平均値は「よく理解できた」が79%、「どちらともいえない」が19%、「理解できなかった」が2%であった。以上のことから、履修学生は内容の理解度が高いと評価できる。

後輩等他の学生への推奨度について	極めて良好	本教育プログラムに係わる科目はすべて受講しなければならないように定められており、これによって後輩を含めた全学生に履修および修得を促す規則としている。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況について	極めて良好	本教育プログラムに係わる科目はすべて受講しなければならないように定められており、これによって履修率は全学科において100%である。
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価について	—	令和5年3月に初めて本教育プログラム修了者が卒業した。しかし、まだ卒業してから1年以内であったため、進路、活躍状況、企業等に係わる調査は次年度以降の予定である。
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	良好	本校では毎年運営諮問会議にて外部評価を受けている。令和6年2月に開催された運営諮問会議で、AI・数理データサイエンス分野教育パックに参加し、日本ディープラーニング協会G検定について教員1名、学生6名受験支援を予定していることを報告した。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	良好	本教育プログラムに係わる科目において、先進的な事例を紹介しつつ、いかにAIが私たちの生活を支える仕組みや様々な企業の生産や管理に取り組みられているかを講義している。授業アンケートや理解度調査アンケートなどから、数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を伝えられるよう取り組んでいる。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	良好	本教育プログラムに係わる科目は、授業アンケートを通して年度ごとに改善される体制を取っている。また、授業に用いた教材をLMSを用いて配布することで自学自習に役立てられる環境を整備している。